

# 行こうよ図書館へ

## 図書館ツアー

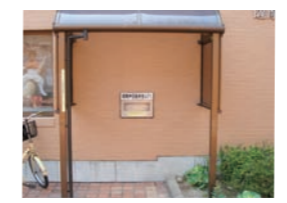
### 図書館の裏側をのぞいてみたら

「図書館って本の貸し出しだけをしているわけではなく、ただでいいけど、カウンターのお貸し出しは何をしてるのだろう」と思ったことはありませんか。今回は、少しだけ中央図書館の裏側を紹介いたします。

■「夜間休日返本受入口」の裏側

中央図書館入り口に向かって左側の壁にある「夜間休日返本受入口」で、休館日や閉館後の夜間に本を返すことができます。

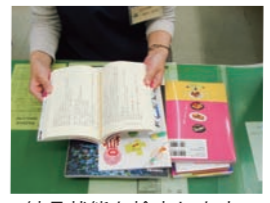
その受入口に返却された本は、毎朝開館前に返却処理（パソコンで返却の記録をすること）をされ、書架に並べられます。



■「窓口カウンターの裏側」

①本や雑誌の貸出準備

図書館で購入した本は、まずページが欠けていないかなどを確認します。そして、貸し出しなどに必要なページ数を数え、必要に応じてページを接合剤で修理しています。



最後に、本のページ数や大きさ、内容などを図書館システムに登録して、新着本棚に出し、貸出準備完了です。

②破損した本などの修理

貸し出しによってページが取れたり破れたりした本を、専用のテープや接着剤などで修理します。本を長く使ってもらうため、修理や補修を常に行っています。



コードラベルなどを貼り、本の保存状態を良くするために透明なフィルムコートというカバーをかけます。

# そこが知りたい！ 第11回 屋所石塔群

## 歴史散策シリーズ

知っているようで知らない薩摩川内市に点在する文化財をクローズアップ!!

### 石塔とは

石で造られた卒都婆(供養塔や墓標の類)のことで、石塔婆とも呼ばれます。サンスクリット語(古代インドで用いられていた言語)の「スツバ(ストゥーバ)」という言葉が仏教と共に日本に伝わりました。



屋所石塔群は、山頂にあり、さまざまな形の石塔が並んでいます。三重層塔、宝塔、五輪塔と呼ばれる型(後述)がみられ、状態が不完全なものを含めると30基以上になります。

### 屋所石塔群

本に伝わり、漢字で「卒都婆」と当てはめられ、「ソトバ」と音読されるようになります。

### 今回紹介した文化財位置図



※1 生きていた間に、自分の死後の冥福を祈ること。または自分より若くして亡くなった子や孫の冥福を祈ること

※2 地：方形 水：円形 火：三角形 風：半月形 空：宝珠形

今回は「戸田観音と河童の木像」を紹介します。

昭和51年に、石塔研究家である黒田清光氏により復元されました。考古学資料としても、美術工芸的文化財としても貴重なものであり、昭和52年4月1日、旧祁答院町の指定文化財となりました。

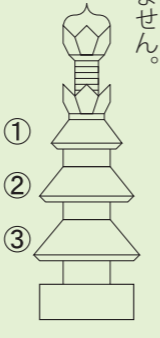
屋所石塔群は、渋谷氏の墓であるという説もありますが、刻まれた文様などから、本来は相良頼景(鎌倉時代の肥後国の地頭)の息子である、長継の一族の供養塔と考えられています。

また、ここには長継の孫である頼秀の逆修塔も立っており、一族の逆修供養塔群としての一面も持っていたようです。

### 石塔の型例

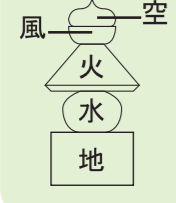
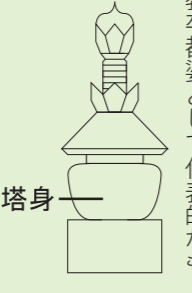
三重層塔は、大きくは層塔と呼ばれる種類の塔です。屋根は奇数が原則であり、この三重層塔も例外ではありません。

宝塔は、伏鉢型の塔身を持つ一重塔です。近世に至るまで天台宗と真言宗以外の宗教では、使用されおらず、密教卒都婆として代表的なものです。



### 五輪塔

五輪塔は、5つの形の異なる石が積み上げられてできています。これは仏教の五大思想の教えを表した、地水火風の5元素を5つの石の形に当てはめているためです。



### 中央図書館から

#### 一般書

自分をえらんで  
生まれてきたよ  
いんやく りお 著  
(サンマーク出版)

Joseph Pred 著  
(パイ インターナショナル)

生まれくるってというのは、幸せなんだよ。生きているというのは、大きな奇跡。病気をもって生まれた「りお」くんが、生まれる前のこと、いのちのふしぎを語ります。

#### 命のバトン

津波を生きぬいた  
奇跡の牛の物語  
堀米 薫 作  
(佼成出版社)

大津波が迫る中、生徒だけでなく牛の命も救おうとした、宮城県農業高等学校の教師たち。津波を生きぬいた牛たちと人間の、命をめぐる物語

#### だいすき

ぎゅつぎゅつ  
フィリス  
ゲイシャイトー、  
ミム・グリーン 文  
デイヴィッド・  
ウォーカー 絵  
(岩崎書店)

朝ごはんを食べた後に、ぎゅつ。本を読んだ後に、ぎゅつ。うさぎのお母さんは、1日のうちに何度も子どもをぎゅつと抱きしめます。たつぷりの愛情を感じる絵本

#### 絵本

だいすき  
ぎゅつぎゅつ

【問合せ】=教育委員会文化課 ☎(23)5111(内線5233)